

第194回 令和8年3月13日（金）

「リスクマネジメントとクライシスマネジメントの違い」

似たような言葉にリスクマネジメントとクライシスマネジメントがあります。どこが違うのでしょうか。

リスクマネジメントの校長の研修で、ミスが起きた時、謝罪を含めて事後対応をどのようにするかという研修がありました。民間の保険会社の方が講師でしたが、これは「クライシスマネジメント」です。そこがひっかかってしまい内容があまり頭に入らなかった記憶があります。

リスクマネジメントは「これから起きるリスクに対し、予防的に対策を考えること。」事故やミスなどは未然防止策を検討します。また地震や台風など避けようがないリスクについては被害を最小限に食い止める方策を考えます。みなさんが学校で体験した避難訓練もリスクマネジメントの一環です。

一方クライシスマネジメントは「起きてしまった事案に対し、できる限り迅速に、被害を最小限にするために対策を立てること」になります。リスクマネジメントが事前準備なのに対し、クライシスマネジメントは事後対応になります。ただし両者が明確に区別できるものではないのは、事後対応を事件が起きる前にしっかり決めておくことはリスクマネジメントと呼ぶこともできるからです。

リスクマネジメントとクライシスマネジメントは前者のほうが、圧倒的に効率が良いです。事故は未然防止できれば損害によるマイナスがゼロになります。リスクマネジメントをしっかりとすることで不可避の災害以外は防げますし、自然災害における人命保護にも効果的です。

そこでみなさんにお話ししておきたいのは、日本では18歳で成人となり、クレジットカードを作ることできますし、運転免許も取得できます。それは良い面もありますが、どのようなリスクがあるのかしっかりとリスクマネジメントをしてから取得するか利用することをお勧めします。

免許を取って運転をして事故を起こしてしまってからクライシスマネジメントをすることは非常に大変です。クレジットカードで使いすぎて残高不足になったとか、不正利用されてしまった場合にどのように対応すればよいかわかりますか？

そうならないために何が必要か、リスクマネジメントをしっかりと考えてできるだけ安全な利用を行い、もし事故が起きてしまった場合はどう対処したらよいのか、リスクマネジメントとも呼べるクライシスマネジメントもしっかりと想定しておくべきだと思っています。